

あなたの身近な相談窓口
横浜市消費生活総合センター

困ったときには、こちらに連絡！！

受付

☎845-6666 FAX845-7720
平日 9時～18時 土日9時～16時45分
祝日 年末年始(12/29～1/3)を除く
横浜市港南区上大岡西1-6-1
ゆめおおおかオフィスタワー 4・5階



平成30年度 洋光台地区消費生活推進員 所属自治会・町内会

| | | | |
|-------|--------------|-------|------------|
| 松下達雄 | 洋光台六街区自治会 | 藤井悦子 | 洋光台四丁目自治会 |
| 廣瀬利美 | 洋光台三丁目町内会 | 高橋俊男 | 洋光台六丁目自治会 |
| 佐藤伊津子 | 洋光台三丁目町内会 | 石島 陽子 | 洋光台五街区自治会 |
| 高橋福美 | 洋光台一丁目町内会 | 那須教子 | 洋光台五丁目自治会 |
| 今井久子 | 洋光台北団地一街区自治会 | 永井成士 | 洋光台六丁目南自治会 |
| 石井千瀧城 | 峰洋自治会 | | |

いそご消費生活だより 洋光台 地区版
発行 平成31年3月
編集 洋光台地区消費生活推進員の会
連絡先 磯子区消費生活推進員事務局
☎750-2397 FAX750-2534

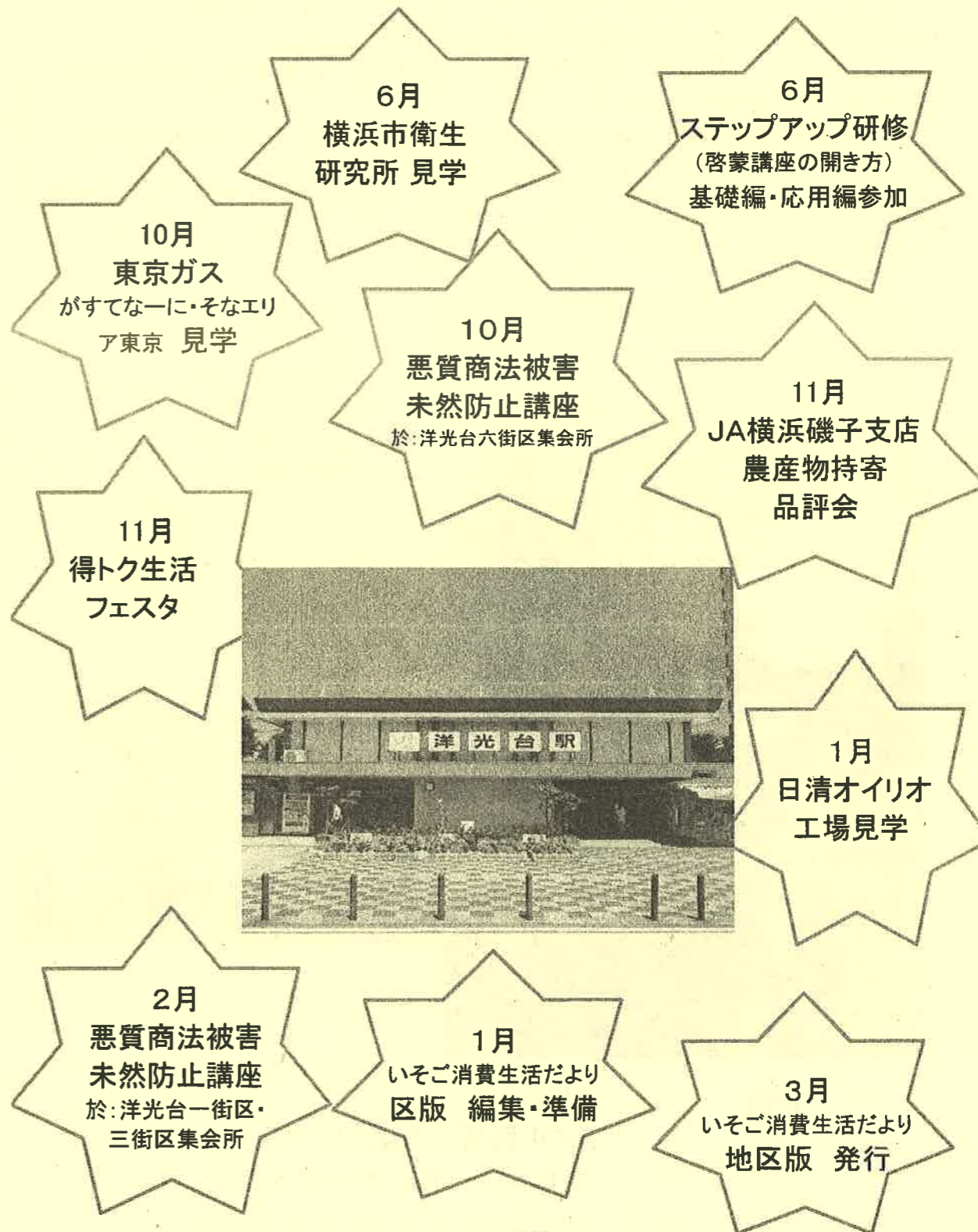
洋光台

いそご消費生活だより 地区版

平成31年3月発行

編集・発行

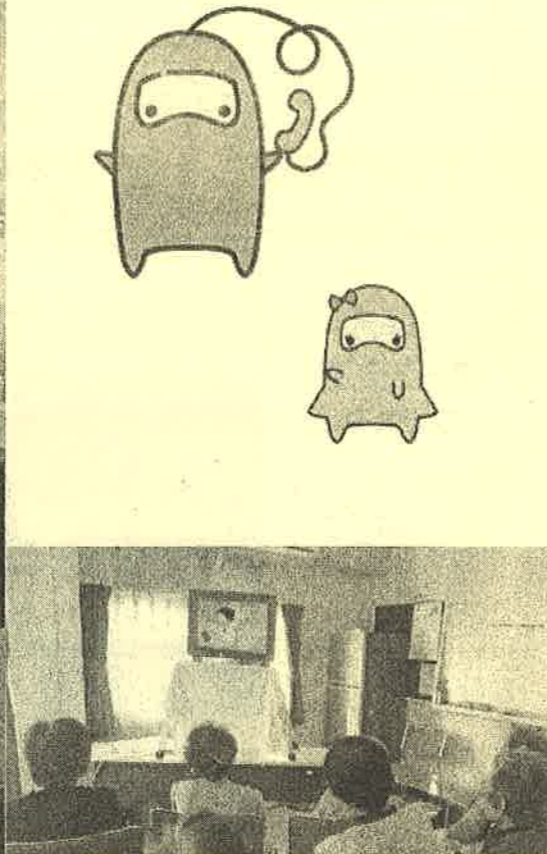
洋光台地区 消費生活推進員の会



平成30年度はこんな活動をしました。

「悪質商法被害未然防止」講座を開催

悪質商法被害未然防止に向け、洋光台地区では3回の出前講演を行いました。
 10月24日は洋光台六街区自治会の「憩いサロン」に出張し、訪問購入をテーマとする紙芝居を披露しながら、被害防止を訴えました。
 さらに2月5日には洋光台一街区集会所で、2月19日には洋光台三街区集会所でも同様の出前講座を行いました。
 いずれも30～35名ほどの参加者があり、被害防止をアピールした横浜市消費生活総合センターのグッズも配布し、好評を得ました。



困ったときには
横浜市消費生活総合センター
 ☎045-845-6666

得トク生活フェスタ 11月3日(土・祝)

ゴミ減量へ！ヨコハマ3R夢

一般廃棄物処理に当たっては、従来は焼却、埋立で処分中心の資源物回収からの取組を固めるため、「ヨコハマ3Rプラン」が平成16年に策定され、一定の成果が挙げられました。これを基に平成22年1月に「ヨコハマ3R夢プラン」へと移行し、市民・事業者・行政との協働のもと、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取り組みを進め、ごみの総排出量が年々削減されています。（下記）
 そしてごみを減らすためには、ごみの分別は勿論「食品ロス」を減らすことが重要となっています。「食品ロス」とは、食べ残しや、たくさん買ったけど食べられなかった食品、調理する物に深く切った野菜の皮など、本来は食べられるのに捨てられている食品のことです。その約半分は家庭から出ています。

食品ロスを減らすためには？

- ①必要なものを必要な分だけ買おう
- ②食べ物をムダなく使い切ろう
- ③好き嫌いをなく残さず食べよう

〇クイズラリー〇
 〇3R（リデュース、リユース、リサイクル）のうち、最も環境にやさしく効果の大きいのは？

パネル展示

折紙で作った箸袋は来客用にと好評でした！

11月3日、区役所1階区民ホールで開催された得トク生活フェスタのパネル展示では、「ヨコハマ3R夢」について紹介しました。
 現在、横浜市が進めている「3R夢」では着実に成果が現われています。
 市民・事業者・行政が一体になって取り組んだ結果、ゴミの総排出量が年々減少しています。
 その中で重要な課題の一つは、食品ロスを減らすことです。これらの点についてパネル展示で訴えました。
 実演会では、昨年同様、広告紙を使ったごみ箱作り（ポリ袋をかぶせると、お皿の代用品にも早変わり！）と箸袋作りを行いました。



JA農業まつり農産物持寄り品評会

11月17日(土)JA横浜磯子支店(磯子区田中)で農業まつり農産物持寄り品評会が開かれ、洋光台地区より3名(ほかに上中里地区より3名)が審査員として参加しました。

どれも見事な出来映えに審査の目も真剣!

区内の農家が自慢の農産物を持ち寄り、その品質と栽培技術を競うもので、人と自然に豊かな暮らしの実現、地域とのふれあい、食の安全安心を守る——という理念のもと毎年催されている行事です。

出品作も大根や白菜、かぶ、ネギ、みかん、レモン、里芋、八つ頭、ジャムや梅酒と多彩。

この日審査結果が発表され、1月10日の褒章授与式で入賞者への表彰が行われました。

